英語通訳ボランティア研修会

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、栃木市でも外国人観光客の誘致に取り組んでいるところですが、当協会の英語通訳翻訳ボランティア登録者が自身の英語力のレベルアップと今後のボランティア活動の市への貢献度を高めるために、定期的に集まって勉強会を行うことになりました。

特に７月は蔵の街、９月は例幣使街道と栃木市観光ボランティアガイドの案内で実際に散策し、外国人観光客へはどう案内したらよいかを考えました。日頃見慣れた景色も自分の足で歩いてみると、沢山の新しい発見がありました。

今後は、ボランティアの皆さんが協力し合って、蔵の街を英語で案内できるマニュアル作りに取り組んでいく予定です。

▲蔵の街を散策中

▲石碑もじっくり見る

日本語ボランティア講習会

▲ボランテイアでもしっかり勉強

▲自分で考えた説明を発表

９月20日（土）、当協会の日本語教室で活動している日本語指導のボランティアが集まり、指導力のレベルアップのための講習会を開催しました。

講師には角田亮子さんをお招きし、例えば「～たび」、「～を問わず」という文型を教えるための導入や説明を考えてみました。

最近は、ネパール、ベトナムなどの受講生が多くなり、熱心に漢字や文法の勉強をされています。

そこで日本語ボランティアの皆さんも受講生から文法のことなどを質問されたとき、きちんと答えられるようにと、日々の努力が欠かせません。

今回は、基本的な日本語の文型についてでしたが、例文作成は個人の生活が自ずと表れてくるものであり、学習者からかけ離れたものにならないように心がけようなどと学ぶことが沢山ありました。

ボランティアの皆さんは、日本語は考えれば考えるほど難しいけれど、教えることはとてもやりがいがあると言っていました。